

管理運営に対する基本方針について

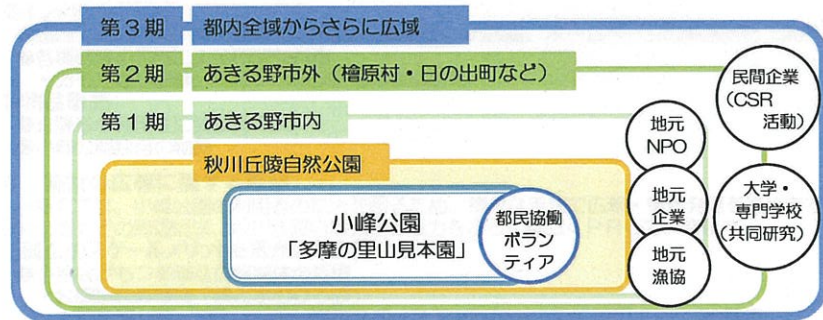
（1）管理運営に対する基本的考え方と重視する視点

①基本的考え方

これまでの指定管理期間（H20～29年度）では、「多摩の里山見本園」として機能が十分に発揮できるよう、里山環境の充実を図ってきました。第1期ではあきる野市内、第2期では檜原村、日の出町など隣接地域にまで連携のエリアを拡大するとともに、価値・魅力の発信を進めてきました。

第3期（H30年度以降）では、「東京の自然公園ビジョン」を踏まえ、これまでの成果を基に「多摩の里山見本園」の充実を図るとともに、連携のエリアをさらに拡大し、都民協働や地域連携のネットワークを発展させます。

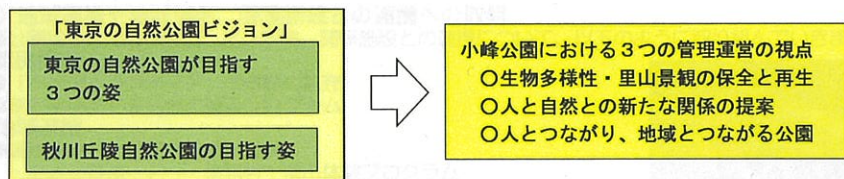
※「多摩の里山見本園」とは、ビジターセンターを核として、園内に里山環境を再現し、来園者が体験を通して、人と自然との関係を学ぶことができる公園のことです。



小峰公園「多摩の里山見本園」の地域連携充実のイメージ

②重視する視点

・「東京の自然公園ビジョン」で示された「東京の自然公園が目指す3つの姿」及び「秋川丘陵自然公園の目指す姿」に則り、「3つの管理運営の視点」を重視し、小峰公園におけるその具体化を図ります。



視点1：生物多様性・里山景観の保全と再生

○自然環境の継続的な調査・分析に基づき、地元自治体等と連携・協働し、生物多様性保全・再生と里山景観の維持を重視した環境管理を行います。

視点2：人と自然との新たな関係の提案

○人と自然との良好な関係を象徴する「里山」環境を有する公園として、地域の歴史・文化・暮らしに基づいた管理運営、体験プログラム、環境学習、人材育成などを行います。

視点3：人とつながり、地域とつながる公園

○地域社会との連携や都民協働を推進し、隣接する自然公園との回遊性の向上並びに観光資源としての魅力・価値を高め、国内外へ広くその価値を発信し、地域全体の振興につなげます。

○来園者への利便性向上や地域振興に寄与する物品販売を行い、その収益は園内の魅力アップ、活性化などに還元します。

（2）当協会のノウハウを活用した業務展開

当協会の公益財団法人としての信頼性・公益性、長年にわたり培ってきた情報発信力、環境管理や普及啓発・防災などに関する技術力を総合的に活かして業務を展開します。また、都民協働や行政の枠組みを超えた地域連携を推進し、環境保全や地域発展のために積極的に取り組みます。

- ①信頼性・公益性を活かした管理運営
- ②情報発信力を活かした利用促進
- ③技術力を活かした管理運営
- ④都民協働・地域連携の推進

人員配置計画

適切な管理運営を行うための人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

- ①公園に生息、生育する動植物の保全技術の継承
- ②自然解説に精通したスペシャリストの配置
- ③職員への専門研修
- ④ボランティアの育成

運営計画

（1）ビジターセンターの機能と事業展開

小峰ビジターセンターの機能を以下のように捉え、事業を展開していきます。

機能	これまでの主な取組	今後の事業展開
①情報収集	・自然情報収集 ・地域情報収集 ・顧客満足度調査	・周辺施設調査 ・スマートフォンなどの通信媒体を活用したニーズ調査
②案内	・窓口／電話対応 ・インフォメーションボード、自然情報ボード ・ハイキングマップ ・ホームページ	・ホームページ全面リニューアル（内容充実及び多言語化（英語）などに対応） ・情報ボードの多言語化
③解説	・主催行事（稲作、畑作、暮らし、歴史プログラム） ・オーダーメイドプログラム ・制作物（展示、機関誌、セルフガイド、解説サインなど）	・主催行事（里山季節めぐり） ・オーダーメイドプログラム（プレミアムガイドウォーク）
④広報・情報発信	・ホームページ、ツイッター ・メディアの活用	・ホームページ全面リニューアル（多言語化（英語）によるインバウンド対応を含む）
⑤協働・連携	・ボランティア活動 ・都民協働生きもの調査 ・地域連携（イベント等） ・他団体との連携（企業、NPO）	・里山にぎわいプログラム ・ボランティア活動の拡充
⑥物品販売		・来園者の利便性に資する物品販売 ・公園独自の物品販売

（2）利用者ニーズの把握への取組

小峰公園では、来園者の方々に対して、ニーズの把握を行い、それらに対する対応を的確に管理運営に反映させ、利用者の高い満足度を維持していきます。

①現在の管理運営状況についての評価把握

- 顧客満足度調査
- 体験プログラム参加者への調査

②今後の管理運営検討のためのニーズ把握

- 秋川丘陵自然公園内の観光スポットでのニーズ把握調査
- 物品販売のニーズ把握調査
- 通信媒体を活用したニーズ把握



自然公園内の観光スポット
今熊神社

(3) 質の高いサービス提供への取組

①各種プログラム・イベント

これまでに行ってきた各種プログラムやイベントは、現状でも高い評価を受けています。引続き内容の改善・発展や、新規のプログラム開発を続け、より質の高いサービス提供を目指します。

表 各種プログラム・イベント等の一覧(一部)

	種類	タイトル・概要
継続	体験プログラム	谷戸田の稲作・畑作プログラム、暮らし・歴史プログラム(炭火おこし、魚釣り、古道めぐり)、オーダーメイドプログラム
	セルフガイド	ティーチャーズガイド、テーマ別セルフガイド、園内セルフガイドシステム
	周辺案内	ハイキングマップ
新規	体験プログラム	里山のにぎわいプログラム(さくら山祭りの発展型としてより広範囲を対象)、里山季節めぐり(里山ミニ教室の発展型)
	展示	人と自然との関係を伝える展示(第2期目に行った生態展示の発展型)

②インバウンド対応

- 園内での対応(「案内標識(英語表記を含む)」の設置、ホームページの多言語化(英語)等)
- 各種研修の実施による円滑な対応
 - ・おもてなし研修/インバウンド対応実践研修

③物品販売

- 来園者の利便性に資する物品
- 小峰公園独自の物品

(4) 施設の広報に関する取組

当協会では、小峰公園の利用者の拡大を図るため、様々な手法で広報・情報発信を進めます。広報活動を通じ、小峰公園やその周辺地域、秋川丘陵自然公園の魅力をさらに幅広くPRしていきます。

①協会のスケールメリットを活かした広報

- 当協会がもつ多様な広報媒体の活用
 - ・公園協会広報誌「緑と水のひろば」
 - ・上野恩賜公園・日比谷公園の展示スペース「東京パークスギャラリー」での展示
- 当協会ホームページリニューアルの機会を活用した「(仮称)自然公園へ行こう」サイト開始

②スタッフのスキルを活かした広報

- スタッフによるWEB広報
- ホームページのコンテンツ充実

③協働・連携を活かした広報

- 多様な広報チャンネルの活用
- 各種プログラムやボランティア活動の成果発表

(5) 地域連携や地域振興、関連施設との連携への取組

小峰公園周辺との地域連携、地域振興、関係施設との連携について、以下のように取り組んでいます。

①都民協働

- 「小峰型ボランティア」の活動の拡充
- 都民協働型の生きもの調査プログラム

②地域連携

- 連携団体との関係の維持・発展
 - ・あきる野市 / 檜原村: 里山体験プログラム
 - ・秋川漁業協同組合: 秋川を活用したプログラム
- 新規の地域連携の構築
- あきる野市観光協会、あきる野市商工会などとの新規連携

③他団体との連携

- 民間企業: NTTグループ会社との雑木林整備体験プログラムを継続
- 大学や専門学校: インターンシップの受け入れなどを継続



ボランティアによる谷戸田の作業風景

(6) 業務効率化への取組

業務を効率的に実施するための経費縮減や業務上の工夫などについて取り組んでいます。

①執行体制の効率化

②経費の縮減

- 園内副産物の有効活用
- 物品販売の収益を活用した公園の魅力アップ

③本社・ブロックによるサポート体制

- 公園管理運営のスペシャリストとして協会が有するノウハウ、機能を最大限に活かした業務の効率化

管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

当協会は、小峰公園の「多摩の里山見本園」としての更なる機能向上を図るとともに、来園者が安全で快適に利用できる公園環境を維持するため適切な維持管理に取り組んでいきます。

①来園者の安全・快適性確保のための維持管理

②環境に配慮した維持管理

- 間伐等に伴う植物発生材を有効活用
- 利用者のごみの持ち帰りを推進
- 生物多様性を考慮した草地の刈り残し

③ビジターセンターの衛生管理の徹底

(2) 事故及び自然災害等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

当協会は、来園者の安全確保を常に念頭に置き、公園管理運営に取り組みます。

①事故を未然に防ぐための安全対策

- ②事故が発生した際の対応
- ③自然災害に備えた安全対策
- ④自然災害が発生した際の対応
- ⑤危険動物による事故の未然防止策

(3) 里山らしい景観や生態系に配慮した植生管理への取組

「多摩の里山見本園」にふさわしい景観や生態系を守り育ていくため、東京都環境局の管理方針に基づき、現状を認識し、植生管理を実施していきます。

①管理マニュアルの作成及び更新

- ②桜尾根の景観保全
- ③外来種の駆除活動
(アメリカザリガニ、キショウブ、クビアカツヤカミキリ)
- ④企業やNPOとの連携による環境管理
- ⑤派遣型ボランティアとの協働
- ⑥生物多様性保全のための技術による管理作業

(4) 稀少動植物保全への取組

絶滅危惧種(東京都RDBでVU以上)や注目種(小峰公園の環境を象徴し、特に推移を見守るべき種を選定)については、管理作業上の注意箇所の周知・徹底や、繁殖・営巣期を避けた時期に維持管理作業などを行います。

①保全のための調査・研究

- 公園スタッフによる基礎調査
- 都民協働・地域連携による調査
- 獣害に関する調査

②保全活動

- 公園スタッフによる保全活動
 - ・選択的除草(継続)/盗掘や捕獲の未然防止策(継続)
- 協働・連携による保全活動



危険生物(マムシ)の実物展示による注意喚起



桜尾根のサクラ

自主事業

当協会は、小峰公園及び秋川丘陵自然公園の魅力を発信するため、以下のプログラム、イベントを実施します。

①プレミアムガイドウォーク(有料)の新設

小峰公園外をフィールドとし、内容を充実させたプレミアムガイドウォークを新設します。
実施例: 周辺の低山ハイイク(今熊山、金剛の滝等)、秋川巡りハイイク

②公園フォトコンテストの開催

フォトコンテストの優秀作品は、展示やホームページを通した広報・PRに活用します。



公園周辺の低山ハイイクのイメージ



公園フォトコンテストの応募作品